

East Japan Railway Worker's Union
Fukushima



JR東労組 福島

第 1758 号

(本年度 44 号)

2019 年 3 月 13 日

発行責任者 安田和広

編集責任者 教宣部

仙台地本主催2019春闘集会

満額回答を勝ち取るために全組合員で職場からたたかうゾ!

3月12日、春闘の山場を迎えるにあたり、仙台市のシルバーセンターにおいて、仙台地本主催の「2019春闘集会」が開催されました。福島支部からも6名が参加、全体では103名が結集しました。

山形、小牛田、会津若松の各支部代表者からは、今春闘の勝利にむけて過半数代表選、組織強化・拡大など、職場からのたたかいの報告が力強く語られました。

今春闘は、トヨタがベア額を非公開とすることや、連合が今後はベアの引き上げ目標を示さない方向で検討していることが報道されるなど、統一闘争の形態

が大転換されようとしている事態に直面しています。JR東労組は今年の春闘でJR総連統一要求のもと「ベースアップ6000円」などの要求を掲げ3月17日現在現在東労組本部本社間、バス東北本部本社間で交渉と議論が積み上げられています。

今集会では18春闘における方針の誤りから多くの仲間を失いましたが、今地本集会を契機に仲間と労働組合の必要性を力強く打ち出して再加入を目指して取り組むことも集会アピールなどを通じて全体で確認しました。

春闘の山場に向けてしっかりと職場から声をあげて、満額獲得に向けて声をあげていこうではありませんか!



上)安田委員長から
中央本部普原情宣
担当部長へ

下)JRバス福島分会
二上副分会長から
バス東北勝山議長へ

それぞれ徹布を手渡す